

記者発表資料

担当課：	生活衛生課
電話：	092-643-3280(内線3074)
担当：	対馬

次のとおり食中毒が発生したので発表します。

1 事件の探知

令和7年10月31日（金）、飯塚市内の医療機関から、ツキヨタケと推測されるキノコを喫食し、食中毒様症状を呈した患者を診察した旨、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所に連絡があった。

2 概要

同事務所が調査したところ、患者は10月30日（木）に嘉麻市内の山中で自生していたキノコを採取し、同日16時頃に自宅で調理し喫食したところ、同日19時頃に嘔吐の症状を呈したことが判明した。

食品残品を確認したところ、形状がツキヨタケの特徴と類似していたこと及び疫学調査の結果から、同事務所は本件を食中毒と断定した。

3 発生日時

令和7年10月30日（木）19時00分頃

4 摂食者数

1名

5 症状

嘔吐

6 有症者数

1名（70代女性）

10月30日（木）に医療機関を受診し、同日入院しているが、11月1日（土）に退院済み。重篤な症状は呈しておらず、回復している。

7 原因施設、原因食品、病因物質

（1）原因施設：家庭

（2）原因食品：ツキヨタケ

（3）病因物質：植物性自然毒（ツキヨタケ）

8 その他

（参考）県下における食中毒の発生状況（11月4日現在。調査中の事件を除く）

区分	2025 年		2024 年（全体）	
	事件数	患者数	事件数	患者数
県域	12	109	18	146
北九州市	6	80	12	75
福岡市	33	302	37	278
久留米市	3	23	0	0
計	54	514	67	499

※食用可能なキノコと誤って有毒なキノコを採取し、食べたことにより、食中毒が発生した事例がありますので、県として注意喚起を行っています。

毒

キノコに要注意！

食中毒は毎年発生！危険なキノコが身近にあります

絶対

食用のキノコだと確実に判断できないキノコは

**採らない！ 食べない！
売らない！ 人にあげない！**

- ◆ キノコを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！
- ◆ 気温の高い夏の後に適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると、多くのキノコが発生する可能性があります

ツキヨタケ



中毒症状

食後30分-1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛等の中毒を起こす。

間違えやすい食用きのこ

- ・ヒラタケ
- ・ムキタケ
- ・シイタケ

テングタケ

中毒症状

食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。



神経系の中毒症状、瞳孔の収縮、発汗、めまい、痙攣等で、呼吸困難になる場合もあり、1日程度で回復するが、古くは死亡例もある。

クサウラベニタケ



中毒症状

食後20分-1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛等の消化器系の中毒を起こす。唾液の分泌、瞳孔の収縮、発汗などの症状も現れる。

間違えやすい食用きのこ

- ・ウラベニホテイシメジ
- ・ホンシメジ
- ・ハタケシメジ

ドクツルタケ

中毒症状

食後6-24時間程度でコレラ様の症状（嘔吐、下痢、腹痛）が現れるが1日でおさまる。



その後24-72時間程度で内臓の細胞が破壊され肝臓肥大、黄疸、胃腸の出血などの肝臓、腎機能障害が現れ、死亡する場合があります。

※出典：厚生労働省ウェブサイト（自然毒のリスクプロファイル）

毒キノコによる食中毒発生状況（平成27年～令和6年）

キノコの種類	間違いやすい食用キノコの例 （「自然毒のリスクプロファイル」より）	事件数	患者数	死者数
ツキヨタケ	ヒラタケ、ムキタケ、シイタケ	110	305	0
クサウラベニタケ	ウラベニホテイシメジ、ホンシメジ、ハタケシメジ	※35	※102	※0
テングダケ	—	16	26	0
ドクササコ	ナラタケ、ホテイシメジ、アカハツ、チチタケ	7	13	0
イボテングタケ	—	4	5	0
カキシメジ	ニセアブラシメジ、チャナメツムタケ、シイタケ	9	30	0
イッポンシメジ	—	※4	※7	※0
オオシロカラカサタケ	—	10	16	0
ニガクリタケ	ナメコ、クリタケ、ナラタケ、ナラタケモドキ	0	0	0
オオワライタケ	—	0	0	0
ニセショウロ	—	2	3	0
ハイイロシメジ	—	1	3	0
ヒカゲシビレタケ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ	1	2	0
タマゴダケモドキ	キタマゴタケ	2	2	0
ドクツルタケ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ	※※3	※※4	※※2
ニセクロハツ	クロハツ、クロハツモドキ	2	2	1
オオシビレタケ	—	0	0	0
カブラアセタケ	—	1	1	0
その他	—	※※15	※※38	※※1
不明	—	15	38	1
合計		237	597	5

※イッポンシメジ、クサウラベニタケが疑われるのでイッポンシメジ、クサウラベニタケの両方に計上している（R3年）。
※※ドクツルタケ、コテングタケモドキが疑われるので、両方に計上している（R6年）。

【自然毒のリスクプロファイル】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html

- 有毒植物にも、ご注意ください
→ [有毒植物による食中毒に注意しましょう](#)
- 代表的な有毒植物と毒キノコの特徴は
→ [「自然毒のリスクプロファイル」](#)をご覧ください。
- 一部地域で、キノコから基準値を超える放射性物質が検出されています。
→ キノコ狩りをする場合は、
[放射性物質のモニタリング検査結果や出荷制限などの情報](#)
をウェブサイト等で、確認してください。
→ 林野庁ウェブサイト「[きのこや山菜の出荷制限等の状況について](#)」